



# ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 6

H.26. 2月発行

おもちゃひろば

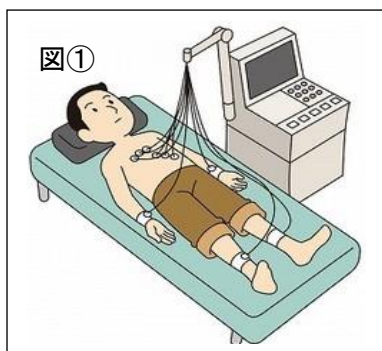
ロリポップ

2020年に東京オリンピック開催が決まった昨年、7年後の自分、お子さんを思い浮かべた方も多くいらしたことでしよう。7年後、小学1年生は中学生、中学生は大人になっています。その頃、好きなことが増えて、苦手なことが少しでも減っていてほしいですね。

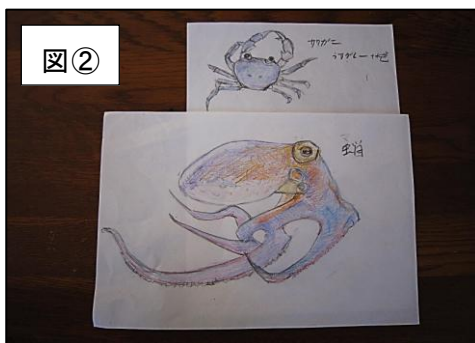
例えば、検診や通院。何をされるかわからない恐怖や緊張で苦手なお子さんが多いとお聞きます。その気持ちを和らげる一助になるおもちゃも提供しよう！と活動してきました。ロリポップは、おもちゃの貸し出しをしながら生の声を製作側の TOY 工房どんぐりに伝える役割も担っています。

## 新しいおもちゃの紹介 しんぞうけんしん

「心臓検診の事前学習を楽しくできる布おもちゃがほしい！」 白浜養護学校保健室の声から生まれました



図①



図②

図① 心臓検診・・・胸には吸盤、手足にはクリップをつけられます。白浜養護では、吸盤を「たこさん」クリップを「かにさん」と呼び、これまで学習されてきました。それが製作のヒントになりました。

図② おもちゃ作りは、デザイナーが本物のタコやカニを描くところから始めます。リアルな世界から TOY 工房どんぐりのおもちゃは誕生するのですね！



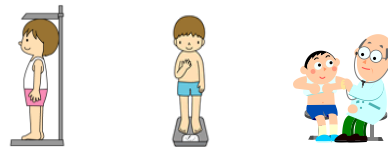
図③



図③ 完成品です。この人形で練習。胸にはタコ、手足にはカニ。当日の検診には、タコやカニがマスコットになって応援します。

デザイン 穂苅 弓

## 頑張る仲間～白浜養護学校 保健室～



春がやってくると、学校ではいろいろな種類の検診がスタートします。

内科検診、耳鼻科検診、歯科検診など…キラキラとした器具にドキドキしてしまう子、慣れないお医者さんにドキドキしてしまう子、今日は頑張るぞと意気込んでいる子、検診を受けられるか受けられないかという結果ではなく、緊張しながらも自分のリズムで少しずつ頑張る子供たちの姿に感動をもらいます。「どうしたら、少しでも安心して検診を受けることができるのだろう?」「検診が苦痛になってしまわないように何ができるだろう…」私たちの永遠のテーマのように思えます。

いろいろな検診が学校にはあるのですが、その中でもハードルが高いものに、心臓検診があります。仰向けになり、両手両足に大きな洗濯バサミのようなクリップをつけ、胸には6つの吸盤をつけて、心電図をとっている間、じっとする…。私たち大人であっても、好んでやりたいとは思えない検診の一つだと思います。心臓検診が少しでも安心して受けられるように、さまざまな工夫を考えてきました。事前練習で、手足のクリップを“かにさん”、胸につける吸盤を“たこさん”と紹介して、流れをパネルシアター、担任の先生の実演で伝えていくこと、最後のじっと待つところは、みんなで歌を歌いながら楽しい雰囲気を作って、実際に子どもたちに体験してもらう、など。

今回、ロリポップさんにご相談したのは、心臓検診についてです。“かにさん”“たこさん”の大小のマスコットや事前練習用のお人形を布で立体的に作ったらどうだろうか?子どもたちが身近で手に触れられるようなものにしていけたら、もっと楽しく検診の練習ができるのではないかと?当日も同じマスコットに触れられたら良いのではないかと?…など、考えていただきました。安全で優しい手触りの布のおもちゃは、子どもたちに安心感を与えてくれます。“かにさん”“たこさん”と一緒に検診を頑張る仲間となってくれたら嬉しいなと思います。春の検診が楽しみです!どうもありがとうございます!

白浜養護学校 養護教諭 小川優

敬称略

## 新聞に掲載されました! 2013年11月1日付

TOY 工房どんぐりの展示会『布おもちゃを届けてーTOY 工房どんぐりの30年』で「朝日新聞」「東京新聞」の取材を受けました。写真は、東京新聞に掲載されたものです。以下記事の一部抜粋です。

青、赤、黄、緑のはっきりした色が好まれる一方、派手なデザインは子どもが飽きてしまうことに気付いた。留めた後の糸を表に出さない、補強のためフェルトの裏に芯を貼るなど、見えないところにも気を配る。

「障害のあるなしにかかわらず、安全に楽しめるユニバーサルデザインの発想」と河村代表。紛争、貧困に苦しむコソボやナミビアにも布おもちゃを届けるなど、活躍の場が広がっている。



右から河村豊子代表 穂苅弓さん

## シチズン・オブ・ザ・イヤーを受賞



ロリポップのおもちゃを作ってくださっている TOY 工房どんぐりが 2013 年度シチズン・オブ・ザ・イヤーを受賞し、1月30日にパレスホテルで行われた表彰式に出席してきました。表彰理由のひとつとして活動が進化し続けていることが挙げられていました。白浜の先生方との話し合いから生まれた心臓検診を始めとするおもちゃがこうした形で評価されたことがとても嬉しかったです。これからもどんぐりへ現場の想いを伝えることを続けていけたらと思います。(西村)

## 編集後記

この「つうしん N0.6」を作成中、なんとなく字を読み取る娘は「心臓検診ががんばるもん!」といい、当時を思い出しているようでした。キラキラの医療器具が苦手なひとり、大好きなピンク色だったらいいのになぁ~と思ったものでした。先生方や同じ子を持つ保護者の方々の子ども達を思う気持ちがおもちゃとして形になりました。「つうしん N0.6」を通じてそれが伝われば、卒業生の親のひとりとしても嬉しい限りです。

(小林)